


# 第 78 期 報 告 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)



Speciality  
Chemical  
Partner

荒川化学工業株式会社

# Speciality Chemical Partner

個性を伸ばし 技術とサービスで みんなの夢を実現する

## C O N T E N T S

株主の皆様へ	2
トップ・インタビュー	3
<i>What is ROSIN?</i> 印刷物をきれいに	5
事業の概況	7
財務諸表	9
<i>Information</i> 荒川歴史館へのお誘い	13
会社概要／株式の状況	14

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、第78期報告書（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当期の国内経済は、輸出が緩やかに増加したものの、生産および設備投資は横ばいとなり、企業収益も弱含みとなるなど、足踏み状態となりました。さらに、サブプライム住宅ローン問題を背景とする株式・為替市場の変動や、石油関連製品をはじめとする素材価格の上昇が続いております。また、世界経済は米国経済で減速感が見られるものの、中国をはじめとするアジア主要国では景気の拡大が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、主力製品のシェア拡大、新規用途開発による高付加価値化、生産プロセスの合理化などによる製品コストの削減に努めてまいりました。また、水系樹脂、光硬化型樹脂、超淡色ロジンなどの環境に配慮した製品の拡販、精密部品洗浄システムや電子材料用樹脂などの電子材料関連分野での販売を強化し、さらに有機・無機ハイブリッド樹脂、クリームはんだの需要開拓を推進してまいりました。海外におきましては、製品の拡販、中国における市場開拓を展開してまいりました。

その結果、当期の売上高は661億71百万円（前期比7.3%増）、営業利益は30億31百万円（同7.1%増）、経常利益は32億22百万円（同10.8%増）、当期純利益は17億75百万円（同8.4%増）となりました。

なお、期末の配当金につきましては、1円増配した1株につき13円とさせていただきます。これにより年間配当は25円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

末村長弘

# トップ・インタビュー

現在当社が置かれた厳しい環境と位置を正しく認識し、持続的な企業価値の向上を目指し、方向性、指針、価値基準を明確なものとするため、第2次中期5ヵ年経営計画を策定しました。末村社長に、キャッチフレーズ「PINE DASH 1000」を掲げる、本経営計画について聞きました。

**Q** 第2次中期5ヵ年経営計画(2008～2012年度)の目指す姿について教えてください。

**A** この3月で終了した第1次中期5ヵ年経営計画(2003～2007年度)では、将来に向けた企業価値の最大化を目指し、「方向性」「指針」「価値基準」を明確に定め、量的拡大よりも質的変換を目的に、全社一丸となって課題の解決に取り組んでまいりました。

本経営計画では、第1次中期5ヵ年経営で築いた基盤をより強固なものとするとともに、企業価値の向上を実現する、躍動を続ける企業集団となる事を目指します。

**Q** 基本方針はどのようなものですか？

**A** 本経営計画の基本方針は、

- ①基盤事業(製紙用薬品事業・化成品事業)のさらなる拡大  
徹底した低コスト体質への変革、事業の集中・拡大や縮小・撤退の選択
- ②伸長事業(機能材料事業・光電子材料事業)の拡大  
高付加価値分野の用途開発、高収益性を確保しながら量的拡大へ
- ③新規事業・新技術の創生  
基盤・伸長各事業の拡大に必要な技術の開発、不足技術の確保
- ④経営・事業基盤の整備と強化  
事業組織のさらなる強化と経営資源の最適配分、グループ最適の経営への4つです。

**Q** 経営目標については具体的にどのようにお考えですか？

**A** 当社グループにおいては、4つの基本方針にのっとり、様々な施策を積極的に実行することにより、第2次中期5ヵ年経営計画の経営目標は、本経営計画の最終年度となります2012年度に売上高850億円、営業利益52億円、経常利益55億円、当期純利益33億円、ROE7%以上の達成を目指してまいります。

**Q** キャッチフレーズにこめた思いを教えてください。

**A** 当社グループが、創業140周年(2016年度)に向かってさらに発展することを目指し、決めました。

## 第2次中期5ヵ年経営計画 キャッチフレーズ **PINE DASH 1000**

- 「**PINE**」 松の木⇒ロジン、本業重視を継続し  
**Proactive Innovation for New Era**  
新しい時代へ、新機軸の先取り
- 「**DASH**」 **D**ynamic **A**ction for **S**hining **H**istory  
躍動、輝ける未来のために
- 「**1000**」 創業140周年(2016年度)には、  
売上高1,000億円を超える姿でありたい

その一語一句にこめた思いを共通認識とし、グループ一丸となって、次なる飛躍へと挑戦してまいります。



**Q** 株主還元策についてお聞かせください。

**A** 当社は安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、積極的な株主還元策に取り組むことを基本方針としています。当面の連結配当性向については、25%程度を目処に安定的な配当水準の維持に努め、将来的には30%以上を目指してまいります。

内部留保金については、経営基盤の強化と持続的な成長の実現のため、財務体質の健全性確保、研究開発投資、設備投資、ならびに技術や顧客ニーズ開拓において相乗効果を発揮させうるグループ体制づくりなどに有効活用し、業績向上に努めていきます。

# ロジン What is ROSIN?

## 印刷物をきれいに

新聞や雑誌、ポスターなど、身の回りは印刷物であふれています。これらの印刷に使われているインキには、インキを密着させ、ツヤを出したり発色を良くする樹脂が入っています。この樹脂を造っているのが荒川化学。新聞や光沢のあるグラビア雑誌など、さまざまな用途に合った樹脂を提供しているのです。

インキがとれません  
一昔前は印刷物を手で握っていると、インキがとれて、手が汚れたけど…インキが紙にしっかりくっつき、固い皮膜になるので、とれません。

キレイな色を再現  
光沢があって、綺麗な色の印刷ができますようになります。



# 光沢が出る

ロジンが決め手



ロジンと顔料、油で造られた印刷インキ

# くっつく



印刷時のインキの飛散量を少なくして高速印刷に対応できます。

# 印刷のスピードUP



荒川化学は  
ロジンと歩んで130余年

荒川化学は、明治9年の創業以来、130余年におよぶ永きにわたり「ロジン」を原料とするパインケミカルズ（松脂関連化学製品）分野のバイオニアとして地位を確立してまいりました。例えば、紙のにじみ止め薬品、印刷インキ用樹脂、粘着・接着剤用樹脂などを開発し、日本の産業の発展に大きく貢献してまいりました。

これからも  
ロジンとともに社会貢献

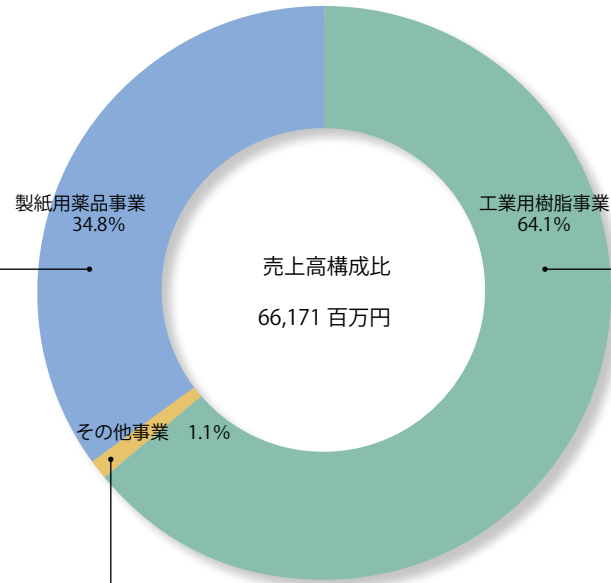
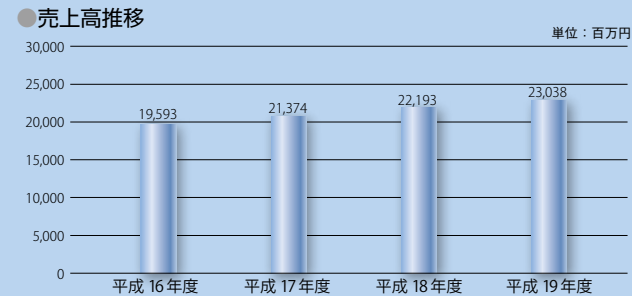
地球環境への関心が社会で高まる中、荒川化学は、ロジンという自然の恵みを生かした事業をおこなう企業としての社会的責任も大きくなっていると考えております。そのため、地球環境に優しい製品の研究や開発に引き続き取り組んでまいります。併せて、お客様の多様なご要望にお応えできる生産・販売体制のいっそうの充実に注力してまいります。

### 製紙用薬品事業

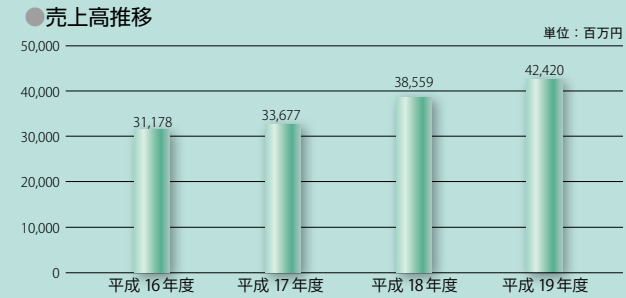


国内製紙業界は、需要の伸び悩みが見られ、ほぼ横ばいとなりました。一方、中国製紙業界では、需要の拡大が続いております。このような環境のもと、当事業におきましては、中国の子会社で、下期に減速感が見られたものの、通期では紙力増強剤の拡販により、売上が増加しました。利益面では、原材料価格高騰による収益性の低下が継続しているものの、製品コストの削減や、海外での拡販などにより、増益となりました。

その結果、売上高は230億38百万円（前期比3.8%増）、営業利益は12億83百万円（同13.1%増）となりました。



### 工業用樹脂事業



国内の印刷インキ、塗料、粘着・接着剤業界はほぼ横ばいとなりました。また、電子工業業界は、一部で在庫調整がありましたが、全体ではほぼ横ばいとなりました。このような環境のもと、当事業におきましては、オフセットインキ用樹脂、環境に配慮した光硬化型樹脂、超淡色ロジン、粘着・接着剤用樹脂および電子材料用樹脂の売上が順調に推移しました。また、ペルノックス(株)におきましては、電子材料用配合製品等が堅調に推移し、売上が増加しました。海外の子会社におきましても、全般的に売上が堅調に推移し、中国での印刷インキ用樹脂、粘着・接着剤用樹脂の売上が増加しました。利益面では、原材料価格高騰による収益性の低下が継続しているものの、電子材料関連分野や海外での拡販などにより、増益となりました。

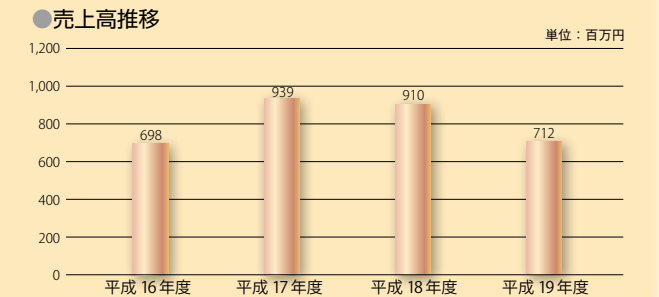
その結果、売上高は424億20百万円（前期比10.0%増）、営業利益は16億77百万円（同3.0%増）となりました。

### その他事業



洗浄機械の売上が減少しましたが、利益面ではその他の分野で補い、僅かに増益となりました。

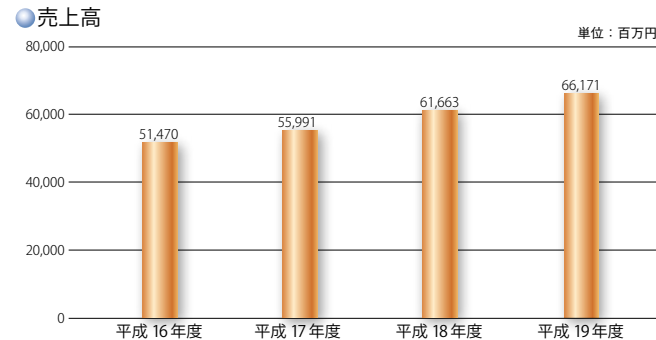
その結果、売上高は7億12百万円（前期比21.8%減）、営業利益は69百万円（同2.8%増）となりました。



連結貸借対照表

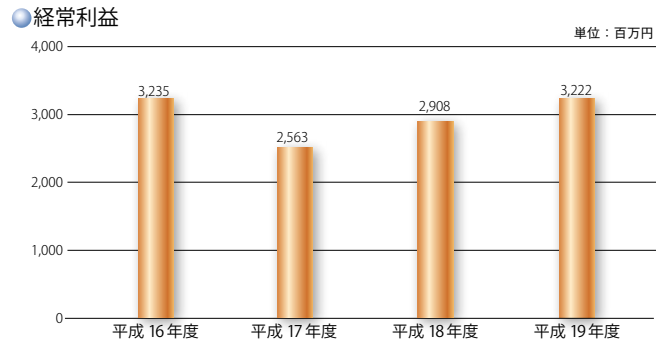
科目	前 期 (19.3.31 現在)	当 期 (20.3.31 現在)
[資産の部]		
流動資産	41,172	39,977
現金及び預金	2,457	3,981
受取手形及び売掛金	25,846	24,341
たな卸資産	11,685	10,613
その他	1,302	1,157
貸倒引当金	△ 120	△ 116
固定資産	26,560	24,821
有形固定資産	18,765	18,799
建物及び構築物	5,988	6,954
機械装置及び運搬具	5,807	5,519
土地	5,241	5,235
その他	1,727	1,089
無形固定資産	830	667
投資その他の資産	6,964	5,354
投資有価証券	6,320	4,678
その他	721	688
貸倒引当金	△ 77	△ 11
資産合計	67,732	64,799

業績の推移



(単位：百万円)

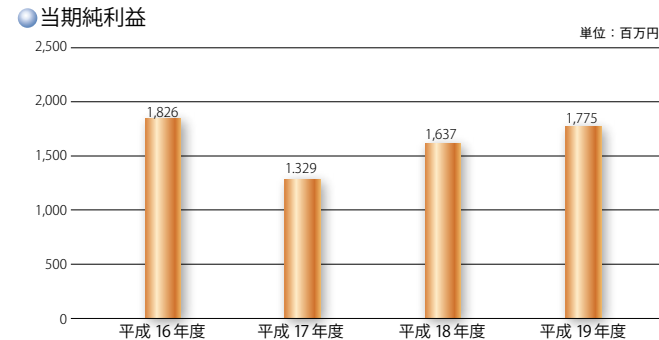
科目	前 期 (19.3.31 現在)	当 期 (20.3.31 現在)
[負債の部]		
流動負債	26,589	24,545
支払手形及び買掛金	13,346	12,171
短期借入金	8,958	7,601
その他	4,284	4,772
固定負債	4,080	3,234
長期借入金	870	673
退職給付引当金	2,016	2,015
役員退職給与引当金	316	—
その他	877	544
負債合計	30,670	27,779
[純資産の部]		
株 主 資 本	33,194	34,445
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	26,725	27,977
自己株式	△ 9	△ 10
評価・換算差額等	2,251	1,193
他有価証券評価差額金	1,952	926
為替換算調整勘定	299	266
少数株主持分	1,616	1,380
純資産合計	37,062	37,019
負債純資産合計	67,732	64,799



連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前 期 (18.4.1 から 19.3.31 まで)	当 期 (19.4.1 から 20.3.31 まで)
売上高	61,663	66,171
売上原価	48,882	52,921
売上総利益	12,781	13,250
販売費及び一般管理費	9,950	10,218
営業利益	2,831	3,031
営業外収益	500	596
営業外費用	423	404
経常利益	2,908	3,222
特別利益	9	6
特別損失	28	161
税金等調整前当期純利益	2,888	3,068
法人税、住民税及び事業税	1,207	1,129
法人税等調整額	△ 74	94
少数株主利益	117	68
当期純利益	1,637	1,775

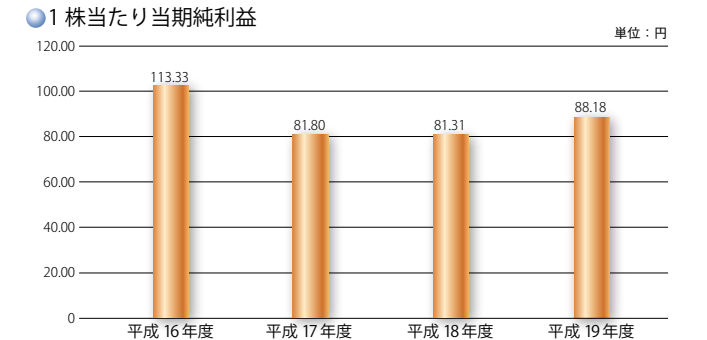


連結株主資本等変動計算書 (19.4.1 から 20.3.31 まで) (単位：百万円)

科目	株主資本	評価・換算 差 額 等	少数株主 持 分	純 資 産 合 計
平成19年3月31日残高	33,194	2,251	1,616	37,062
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当	△ 523			△ 523
当期純利益	1,775			1,775
自己株式の取得	△ 1			△ 1
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	△ 1,057	△ 236	△ 1,294
連結会計年度中の変動額合計	1,251	△ 1,057	△ 236	△ 43
平成20年3月31日残高	34,445	1,193	1,380	37,019

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	前 期 (18.4.1 から 19.3.31 まで)	当 期 (19.4.1 から 20.3.31 まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,238	5,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,637	△ 2,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,502	△ 2,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△ 22
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△ 1,350	1,514
現金及び現金同等物の期首残高	3,746	2,396
現金及び現金同等物の期末残高	2,396	3,911

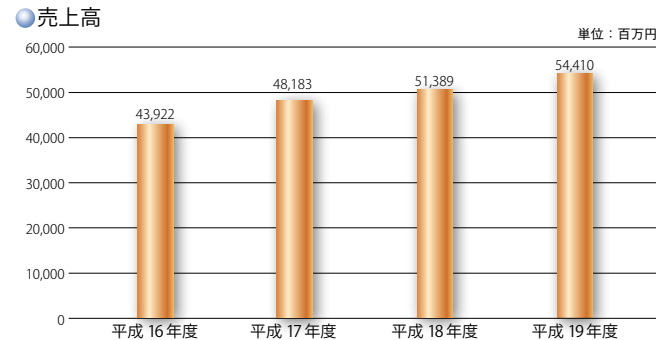


(注)平成18年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割をおこなっております。

貸借対照表

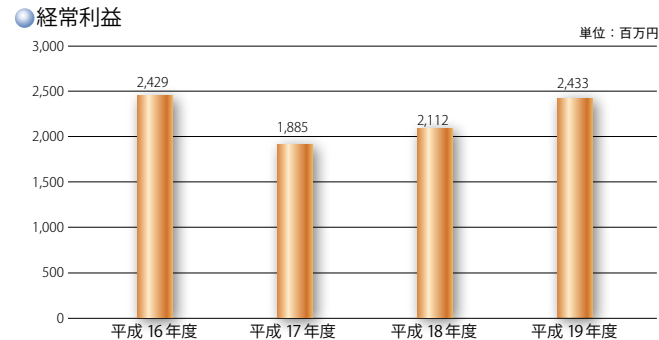
科目	前 期 (19.3.31 現在)	当 期 (20.3.31 現在)
〔資産の部〕		
流動資産	33,118	31,907
現金及び預金	1,008	2,023
受取手形	2,116	1,452
売掛金	20,689	19,578
たな卸資産	7,395	6,860
その他	1,998	2,082
貸倒引当金	△ 90	△ 90
固定資産	25,084	23,130
有形固定資産	12,548	12,101
建物	3,405	3,243
機械装置	3,226	2,890
土地	4,584	4,578
その他	1,332	1,388
無形固定資産	276	333
投資その他の資産	12,260	10,696
投資有価証券	5,897	4,257
その他	6,371	6,447
貸倒引当金	△ 8	△ 8
資産合計	58,203	55,038

業績の推移



(単位：百万円)

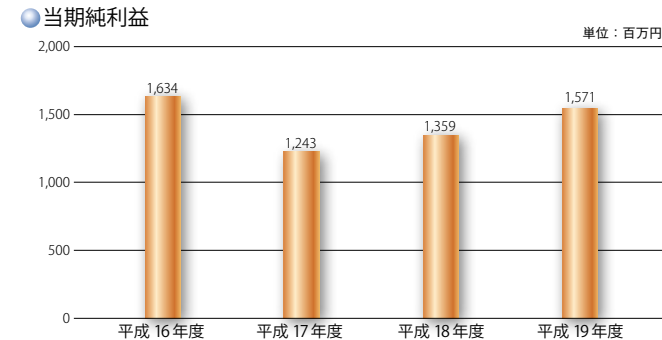
科目	前 期 (19.3.31 現在)	当 期 (20.3.31 現在)
〔負債の部〕		
流動負債	21,524	19,206
支払手形	2,419	2,144
買掛金	9,047	8,087
短期借入金	6,450	5,300
1 年以内返済予定長期借入金	239	233
その他	3,367	3,441
固定負債	3,459	2,572
長期借入金	596	363
退職給付引当金	1,717	1,682
役員退職給与引当金	275	—
その他	869	526
負債合計	24,983	21,778
〔純資産の部〕		
株 主 資 本	31,279	32,326
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	24,810	25,858
自己株式	△ 9	△ 10
評価・換算差額等	1,940	932
その他有価証券評価差額金	1,940	932
純資産合計	33,220	33,259
負債純資産合計	58,203	55,038



損益計算書

(単位：百万円)

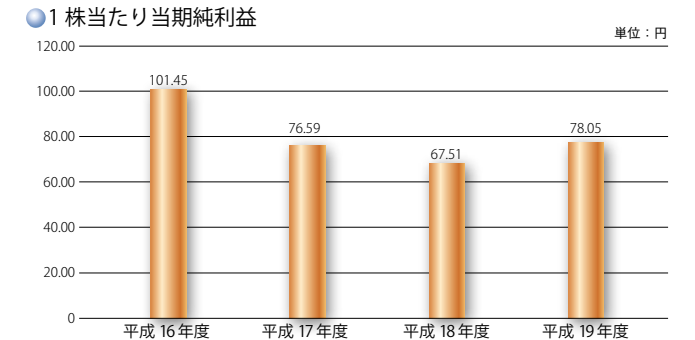
科目	前 期 (18.4.1 から 19.3.31 まで)	当 期 (19.4.1 から 20.3.31 まで)
売上高	51,389	54,410
売上原価	42,444	45,147
売上総利益	8,945	9,263
販売費及び一般管理費	7,648	7,828
営業利益	1,296	1,434
営業外収益	1,032	1,181
営業外費用	216	182
経常利益	2,112	2,433
特別利益	3	1
特別損失	20	65
税引前当期純利益	2,095	2,369
法人税、住民税及び事業税	760	730
法人税等調整額	△ 24	68
当期純利益	1,359	1,571



株主資本等変動計算書 (19.4.1 から 20.3.31 まで)

(単位：百万円)

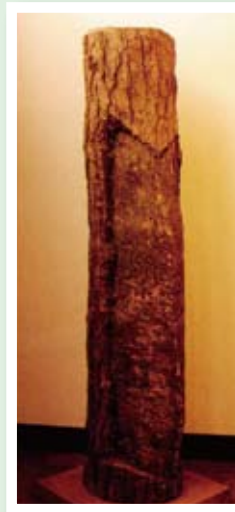
	株 主 資 本	評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 計
平成 19 年 3 月 31 日 残 高	31,279	1,940	33,220
事業年度中の変動額			
剰余金の配当	△ 523	—	△ 523
当期純利益	1,571	—	1,571
自己株式の取得	△ 1	—	△ 1
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)	—	△ 1,007	△ 1,007
事業年度中の変動額合計	1,047	△ 1,007	39
平成 20 年 3 月 31 日 残 高	32,326	932	33,259



(注)平成 18 年 4 月 1 日付で普通株式 1 株につき 1.2 株の割合で株式分割をおこなっております。

## 荒川歴史館へのお誘い

平成18年に創業130周年記念事業の一環として、当社本社内の一角に開館した「荒川歴史館」。  
当社130有余年の歩みや当社の発展に関わった先人達の功績、ロジンの採取方法やその歴史などを展示しております。



生松脂採取原木

事前予約制で一般公開しております。  
開館時間 10:00 ~ 16:00(平日のみ)  
ご予約は総務部まで(06-6209-8500)



## 会社概要 / 株式の状況

### 会社概要 (平成20年3月31日現在)

商号	荒川化学工業株式会社
創業	明治9年(1876年)
設立	昭和6年1月(1931年)
資本金	31億2,830万円
グループ従業員	1,179名
主な事業内容	次の製品の製造および販売 製紙用薬品、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、 合成ゴム重合用乳化剤、粘着・接着剤用樹脂、 食品添加物用樹脂、電子材料用樹脂、 精密部品洗浄システムおよびその関連機器
ホームページアドレス	<a href="http://www.arakawachem.co.jp">http://www.arakawachem.co.jp</a>

### 役員 (平成20年6月20日現在)

代表取締役社長	末村 長 弘
常務取締役	草野 侗
常務取締役	中尾 光 良
取締役	松本 圭 三
取締役	三谷 育 洋
取締役	河村 敏 嗣
取締役	谷 奥 勝 三
取締役	荒川 壽 正
取締役	真鍋 好 輝
取締役	延 廣 徹
監査役(常勤)	山中 勝 之
監査役(常勤)	蒔田 宗 治
監査役	岩城 本 臣
監査役	中西 隆 夫

(注) 監査役岩城本臣および中西隆夫の両氏は、社外監査役であります。

### 株式の状況 (平成20年3月31日現在)

発行可能株式総数	52,800,000株		
発行済株式の総数	20,150,400株		
株主数	3,398名		
大株主			
	株主名	持株数	出資比率
	日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,295千株	6.43%
	荒川化学従業員持株会	1,007	5.00
	株式会社三菱東京UFJ銀行	940	4.67
	荒川壽正	918	4.56
	日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	453	2.25
	荒川彦二	420	2.09
	三菱化学株式会社	406	2.02
	株式会社みずほ銀行	397	1.97
	株式会社三井住友銀行	396	1.97
	高橋忍	360	1.79

### グループ会社の状況 (平成20年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権比率
	南通荒川化学工業有限公司	5,500千米ドル	100%
	梧州荒川化学工業有限公司	3,500千米ドル	100%
	ペルノックス株式会社	60百万円	100%
	高压化学工業株式会社	60百万円	100%
	広西荒川化学工業有限公司	12,000千米ドル	80%
	台湾荒川化学工業股份有限公司	149,226千新台幣元	60%
	ARAKAWA CHEMICAL(USA) INC.	1,400千米ドル	100%
	カクタマサービス株式会社	100百万円	100%
	HONG KONG ARAKAWA CHEMICAL LTD.	4,000千米ドル	60%
	廈門荒川化学工業有限公司	5,603千米ドル	間接60%
	ARAKAWA CHEMICAL(THAILAND) LTD.	119,000千タイバツ	50%
	ARAKAWA Europe GmbH	52千ユーロ	40%



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村証券株式会社 全国本支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、  
次の三菱UFJ信託銀行の電話および  
ホームページでも24時間承っております。  
電話 (通話料無料)

0120-244-479 (本店証券代行部)

0120-684-479 (大阪証券代行部)

ホームページアドレス

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

## 荒川化学工業株式会社

大阪市中央区平野町1丁目3番7号 〒541-0046  
電話 06-6209-8500(代表)



地球に優しい大豆インクと再生紙を使用しております。  
この SOY INK マークは米国大豆協会承認マークです。